

七〇年の平和と現状

富山県立氷見高等学校 一年一組

清水 咲良

二〇一五年八月十五日、今年で私たちは戦

後七〇年の大きな節目を迎えることになりました。

した。

今年の北日本新聞には、「戦後七〇年安保部

首相談話」の記事が大きく取り上げられてい

たり、テレビでも生放送が行われていました。

前日、テレビでも見ていたことから、私は今

回この記事について考えようと思いました。

新聞にもあるように、今回の談話では「お

わびの気持ち」の記述がありました。しかし

その内容は、「歴代内閣の歴史認識を間接的

に引用したにすぎない」など、中国、韓国

への引用したにすぎない」など、中国、韓国

への引用したにすぎない」など、中国、韓国

への引用したにすぎない」など、中国、韓国

への引用したにすぎない」など、中国、韓国

への引用したにすぎない」など、中国、韓国

かけ下しまつた国に、も、とちやんと謝罪の  
気持ちをおこめるべきだと思ひます。

また、迷惑をおかけられた国にと、では、  
う簡単には割り切れることではないかかもしれま  
せんが、  
「将来世代に謝罪を続ける宿命を背  
負わせてはならない」という意見には賛成で  
す。  
「将来世代の人達に、先代の犯した罪の責  
任を負わせるのは間違」  
「いると思ひからで  
す。」

そして、唯一の被爆国である日本の核兵器  
廃絶の運動は、これからも日本の使命として  
行つていくべきだと思ひました。  
私は家族旅行で原爆ドームを見に行つたことがあります。  
核兵器の使用で何万人もの人が亡くなり、今  
も生き残り、た人々が後遺症に苦しんでいるこ  
とを知りました。  
目をつむりたいような惨劇  
ですが、後世に語らないといけないとしても大  
切なことだと思ひます。  
最後に、これからはいつです。首相は日  
中首脳会談に強い意欲を示しているようです。

会談は友好関係を築くためにも、とても良いことだと思います。また、伝えたいことを伝える良い機会だと思います。日本の代表として、相手を不快にさせないよう、言葉を選んで話し、欲しいです。

新聞にある、対話のドアは常にオープンだ。という文が個人的に好きでした。

この七〇年間、大きな戦争がなか、たことは、とても良いことであり、いろいろな国が他の国と仲良くしているからだと思います。一方で、紛争が絶えない地域があり、たり、仲良くない国もあると思います。

誰かのために、死傷者が犠牲になり、悲しい思いをすることのないよう、これから戦争のない時代が続いてほしいと願っています。

二〇一五年八月十五日

北日本新聞